

## 内科

# ビフィズス菌 LKM512 とポリアミン

ヒトの細胞に存在するポリアミン（スペルミン、スペルミジン、プトレッシンなど）は、細胞の増殖や蛋白合成などに関与している成長因子で、抗炎症作用、腸管バリア機能の維持・促進などの作用が知られています。

マウスにポリアミンの量の異なる餌を与えて飼育したところ、高ポリアミンの飼

料を与えたグループの方が寿命が延長し、

記憶力も良好でした。そして、通常の腸内細菌をもつマウスは、無菌マウスより多量のポリアミンを有することから、腸内細菌がポリアミン産生に関与していることが示されました。ビフィズス菌 LKM512 を

投与すると、腸内のポリアミンが増加し、スペルミンの投与群より高い寿命延長効

果が見られました。ヒトでの健康寿命延長効果も期待され、研究が進められています。ビフィズス菌 LKM512 はヨーグルトや顆粒状の製品としても市販されています。



福本 学

■ 内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877  
麻生区万福寺6-7-2  
メディカルモリノビル2F  
<http://www.fukumotonaika.jp/>